



- 全学共通科目
- 導入科目
- 共通基礎科目
- 共通展開科目
- 応用生命科学コース専門科目
- 生物生産科学コース専門科目
- 環境科学コース専門科目
- 生物資源機能化学コース専門科目
- 食品科学コース専門科目
- 特別講義、共通コース専門科目

ディプロマ・ポリシーの各項目の達成は、以下に示す体系的教育をもって実現します。

a 言語運用能力

全学共通科目のコミュニケーション科目により基礎となる語学力向上を図り、続いて学部開設科目である「科学英語」においてグループワークを基礎として専門英語の知識とプレゼンテーション能力の向上を、さらに留学を志向したより高度なプレゼンテーション能力の養成のための「実用英語」、セミナー形式での「専門英語」を連続して受講することにより、農学における専門英語運用能力を獲得します。また、日本語運用能力は、③で示した問題解決・課題探求能力を養う科目の中で段階的に身につけます。

b 知識・理解（21世紀型市民及び学士（農学）として）

基礎となる幅広い視野と知識獲得のため、全学共通科目（学問基礎科目、主題B「現代社会の諸課題」等）を学び、農学的視野・視点を涵養するため、1、2年次に学部導入科目ならびに学部共通基礎科目を履修します。その上で2年次後期から農学の課題解決に必要な応用科学的知識・技能を修得するため、5つの専門コースに分かれた専門科目及びコース実験・実習を履修します。講義形式による知識の獲得と実験・実習形式による具体的技能修得を組み合わせることで、より総合的な知識の獲得と実践的な知識の理解を達成します。

c 問題解決・課題探求能力

全学共通科目の主題B「現代社会の諸課題」や「大学入門ゼミ」において問題発見・解決の方法を学び、2年次の「応用生物科学実習」により専門分野の理解を深め、2年次及び3年次に学部専門教育を受けて「コース実験」により専門知識と技能を修得した上で、3年次後期から課題研究に取り組みます。課題研究は、研究室単位の少人数教育で実施され、生物資源の生産と活用に関わる諸分野における課題の抽出、解決方法の決定、分析・解析を経て一定の結論を導く高度なPBL（Project Based Learning）型教育を通して、問題解決・課題探求能力を身につけます。

d 倫理観・社会的責任

全学共通科目の主題A「人生とキャリア」において21世紀型市民としていかに生きるかを学び、一定の農学部専門教育を受けた上で3年次配当の「応用生物科学領域の倫理」や「生物環境保全学」を含む展開科目を履修することで、農学における倫理観を身につけ、かつ社会的責任の自覚を養います。これらの科目はグループワークを取り入れた講義形式で行われ、農学における倫理観・社会的責任をより深く理解し、身につけます。さらに国際感覚の涵養のために1年次に「国際英語演習」並びに国内・海外サービスラーニングプログラムを、高年次向けの展開科目の中に国際関係科目を開設しています。以上の一連の科目は、高い倫理性、社会的責任の自覚、更には国際感覚を持ち、社会において問題解決・課題探求能力を発揮する基礎となります。

e 地域理解

全学共通科目の主題C「地域理解」で地域理解への動機づけがなされ、2年次の「農学入門」などの一定の学部専門教育を受けた上で、高年次配当の「現代応用生物科学」、地域資源学シリーズ科目（「オリーブ学」、「希少糖学」、「うどん学」）を含む展開科目を履修することで地域産業と農学の関わりを理解します。これら地域理解科目では、講義の目的に応じて講義、実習、グループワークなど様々な教授方法が取り入れられ、より実践的に地域の課題を理解します。さらに「インターンシップ実習」により実践的活動を通して地域を理解します。